

奥州市道路ストック点検結果

1. 道路ストック点検の目的

奥州市が管理する道路ストック（トンネル、大型カルバート等）について点検を実施し損傷度合の把握を行い、計画的な修繕を行うための指標とします。

2. 管理する道路ストック数

現在、奥州市が管理する道路ストックは下記の表のとおりとなっています。

これまで、橋梁同様に修繕については「損傷が進んでから直す」という「事後保全型」で行っていましたが、今後は、これまでの「事後保全型」から「予防保全型」へ切り替えることにより、修繕費用の縮減・平準化を図っています。

種類	数量
トンネル	2基
大型カルバート	1基
スノーシェルター	3基
門型標識	5基

※大型カルバートとは、内空に2車線以上の道路を有するカルバート。

3. 点検結果の概要

上記の道路ストックに対し点検を実施し、今後は法定点検である5年に1回の頻度で点検を行います。

この点検により、コンクリート部材の損傷としてひび割れ等が確認されたものがあります。また、鋼部材については腐食による錆などが確認されました。

損傷の度合いによる判定区分は下記（表－1）のとおりで、今後、路線重要性や使用頻度等を考慮し、計画的に修繕等を行います。

区 分		定 義
I	健全	道路の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずるべき状態。
IV	緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

表－1 健全性の判定区分

4. 点検結果

種類	施設名称	区名	路線名	判定
トンネル	菖蒲平トンネル	衣川区	十一ヶ銘滝の沢線	Ⅱ
	増沢トンネル	衣川区	増沢高堂線	Ⅰ
大型カルバート	大桜跨道橋	前沢区	高畑赤面線	Ⅱ
スノーシェルター	種山1号スノーシェルター	江刺区	江刺住田線	Ⅲ
	種山2号スノーシェルター	江刺区	江刺住田線	Ⅲ
	種山3号スノーシェルター	江刺区	江刺住田線	Ⅲ
門型標識	門型標識 No. 1	水沢区	板谷線	Ⅲ
	門型標識 No. 2	水沢区	板谷線	Ⅲ
	門型標識 No. 3	水沢区	板谷線	Ⅲ
	門型標識 No. 4	水沢区	板谷線	Ⅲ
	門型標識 No. 5	水沢区	板谷線	Ⅲ